

戦評用紙

| | | | |
|-----|--|--|--|
| 大会名 | 令和5年度 第74回山形県高等学校総合体育大会兼全国高等学校体育大会山形県予選会 | | |
|-----|--|--|--|

| | | | |
|----|-------------------|----|-----|
| 日時 | 2023年6月4日 11:40 ~ | 区分 | 高体連 |
|----|-------------------|----|-----|

| チームA | | | | チームB |
|------|----|----|----|------|
| 山形中央 | | | | 山形商業 |
| 72 | 14 | 1Q | 10 | 57 |
| | 18 | 2Q | 22 | |
| | 23 | 3Q | 16 | |
| | 17 | 4Q | 9 | |
| | | 延長 | | |

【戦評】

決勝戦は、1月に行われた山形県新人大会決勝と同じ、山形中央(以下、山中)と山形商業(以下、山商)の一戦となった。

スターティングメンバーは、山中#27、#7、#12、#30、#99、山商#5、#7、#8、#9、#10

1Q

お互いにマンツーマンディフェンスでスタート。開始1分半、山中の#30のオフェンスリバウンドからのゴール下シュートで、スコアが動いた。山中#99が連続でスリーポイントを決め、流れは山中かと思われたが、山商#9のドライブからフリースローを獲得。さらにリバウンドを頑張り、#5のスリーポイントで流れを渡さない。お互い、ディフェンスを頑張り、スコアが停滞したが、山商のターンオーバーから山中#12の速攻が決まり、山商はたまたまタイムアウト。再開明けはお互いにスコアを積み重ね、14-10、山中リードで終了。

2Q

開始早々、山中#19のスリーポイントを決めるが、山商#9が負けじとツーポイントを重ねる。一進一退の攻防が続けたが、山商がリバウンドを頑張り、#7、#10ツーポイントで18-19と逆転に成功する。そこから山商は、#7の速攻、山中は、#12のブロックや#27のバスケットカウントなど、ビッグプレーを重ねるが、強固なディフェンスで流れを渡さない。お互い一歩も譲らず、32-32の同点で前半戦を折り返す。

3Q

山中の個人技と山商のバックカットを多用したチーム戦術でお互い譲らない展開を見せる。しかし、時間が経つに連れて、山中はバックカットへの対応を見せ、一方、山商は山中の個人技を止めることができない。山中#27のドライブや#99のスリーポイントやミドルショットが要所で決まり、55-48、山中リードで終了。

4Q

3Pから勢いがついていた山中が#99のドライブから2本のフリースローを獲得し、成功させる。また、#30のゴール下のシュートでもフリースローを獲得し、リバウンドから#99がスリーポイントを成功させる。その後、山商も#7、#8、#10が果敢に攻めたが、山中#99のスリーポイントやミドルショット、#12、#30のドライブで追撃を許さなかった。72-57で試合終了。両チーム共、ディフェンスが激しくとても白熱した試合となった。

戦評者 齊藤 璃空、丸橋 慎吾